

## 2019(令和元)年度第2回伊賀市地域公共交通活性化再生協議会 議事録

- 開催日時 2019(令和元)年12月13日(金)  
午後1時30分～午後3時30分
- 開催場所 市役所本庁舎2階 第202・203会議室
- 出席者 (敬称略)

### 【委員】

辻本 勝久(和歌山大学)、大森 秀俊(伊賀市副市長)、友田 明石  
(西日本旅客鉄道株)、藤巻 恵(伊賀鉄道株 代理 福角 良次)、  
川端 邦裕(三重交通株)、福田 政幸(三重交通労働組合)、  
四辻 純也(中部運輸局 代理 加藤 拓)、久世 真(中部運輸局三重運  
輸支局 代理 木下 淳一)、番條 克治(布引地域住民自治協議会)、  
添 誠(伊賀警察署交通課)、河本 直紀(名張警察署交通課)、  
天野 圭子(三重県地域連携部交通政策課)、  
森木 忠彦(三重県伊賀建設事務所 代理 福森 正紀)、加藤 幸生  
(市民公募)、堀田 大(いが移動送迎連絡会 代理 稲森 美智子)、  
宮崎 寿(伊賀市企画振興部長)

### 【事務局】

交通政策課 福岡、吉岡、坂森、吉福  
各支所振興課長、課員

- 傍聴人：4人

### ■会議概要

#### 1. 開会

交通政策課長 福岡

#### 会長あいさつ

皆さん、こんにちは。本日はお集まりいただき、ありがとうございます。  
今日の議題にもあがっていますが、市のバス交通への負担が数億円にのぼ  
っているという現状があります。再編策を講じて効率化していく時期が来て  
いるのかと思いますが、その辺りも皆さまにご議論いただければと思います  
ので、よろしくをお願いします。

・委員、事務局 自己紹介

## 2. 協議事項

- (1) 神戸地区地域運行バスの運行計画の変更について  
事務局から資料1に基づき説明

### 【質疑応答】

委員	青山支所が移転したらどうなるのか。
事務局	移転の際には、ルートについて再度協議させていただくことになるかと思えます。
委員	領主谷から丸山駅の区間は、今もフリー乗降区間か。
事務局	今すでにフリー乗降区間になっていますが、今回、その一部をルート変更し、区間の距離が3.1kmから3.0kmに変わります。

### 【承認】

- (2) 行政バスへの回数券及び定期券の導入について  
事務局から資料2に基づき説明。

### 【質疑応答】

委員	説明の中で行政バスの利用者数が、平成28年度から30年度にかけて16%減少しているという話があったが、インパクトが大きい。人口減少以外に把握している理由はあるか。
事務局	大きな基盤のところでは変わっていないと考えています。行政バスやコミュニティバスが走っている地域で過疎化が進んでいることが大きな要素と考えています。 また、スクール利用をしている行政バスもあるので、少子化も大きい要素と考えています。

### 【承認】

(3) 阿山行政サービス巡回車のフリー乗降制度の導入について  
事務局から資料3に基づき説明。

【質疑応答】

委員	車はバス型か。というのも降りるときに運転士に声をかけるとなると、後ろのほうに乗っている客の声が運転士に聞こえるか気になる。
事務局	十分に聞こえます。
委員	走行中に立って移動しないように等、事故防止に向けた注意喚起をきっちりやっていただきたい。
事務局	そうさせていただきます。
委員	ルートのうち甲賀市にかかる分は、今後甲賀市に働きかけていくのか。
事務局	2月に甲賀市の交通会議が開催されると聞いているので、そのときに話をしたいと考えています。
委員	その部分についてはあとから申請か。
事務局	交通会議開催以降となります。

【承認】

(4) 伊賀市地域公共交通網形成計画に基づく廃止代替バス路線の再編について  
事務局から資料4に基づき説明。

【質疑応答】

会長	説明の中で、島ヶ原の地域部会だけ不承認という話があった。その点について、沿線住民自治協議会がすべて承認している中で、本協議会として承認でよいかどうかというところがあると思う。
委員	なぜ島ヶ原は不承認になったのか。
事務局	島ヶ原地域部会では、行政バスと一体で廃止代替バスを見直すべきという点で疑義が出されました。 先に、再編案についてまちづくり協議会の了承を得て、地域部会へ話をしました。島ヶ原の行政バスの改善をしようという話は2年程前からあり、住民ニーズをまちづくり協議会から上げてくださいという話を支所からしていましたが上がってきませんでした。今年2月の会議の席でも上げてくださいという話をしていますが、住民ニーズが上がってこなかったという実情があります。 まちづくり協議会の中では、了承いただいていると考えていま

	す。まちづくり協議会長は、今年は行政バスの見直しはしないと言われていましたし、再編案の中身はわかるということでした。
委員	廃止代替バス見直し後の次の段階として行政バスの検討を行うといったことは、来年とかに考えられますか。
事務局	会長も、来年度は支所と密に連絡を取り合って、行政バスを利用しやすいように考えていきたいとのことでした。
会長	まちづくり協議会は承認しているということです。来年度、島ヶ原の行政バスについてニーズを踏まえ、しっかり検討していくということを含んで承認ということによろしいでしょうか

【承認】

(5) 廃止代替バスに係る生活交通確保維持改善計画（案）について事務局から資料5に基づき説明。

【質疑応答】

委員 (中部運輸局)	私の方から補足します。この計画は、国の補助を受けるための計画と考えていただいてよいと思います。積極的に再編する路線へは、補助を入れて国として支援するというものです。今回の協議会で承認いただいて、支援してもらいたいという計画です。
委員 (三重交通労働組合)	友生線のルート変更について説明があったが、ゆめが丘は通勤時間帯に渋滞し、右折で苦勞している。 また、西山・島ヶ原線については、市場から長田へ向いて走った後のT字路もバス車両で曲がるのは難しい。
委員 (三重交通伊賀営業所)	運行管理者と事前に確認を行っている。車両については、社内で相談させていただく。検証もしっかりと行いたいと思う。
委員	上野市駅で接続している地域間幹線の実績は最新の数値を見てきたが、阿波線で輸送量が前年度から1.1人落ちている。玉滝線、上野天理線も落ちている。地域間幹線もあわせての利用促進を図っていただきたい。
事務局	阿波線についてはスクール混乗の取り組みを進めているが、子ども的人数も減ってきています。大山田地域部会へ情報提供させていただきたいと思います。

【承認】

(6) 伊賀鉄道に係る生活交通改善事業計画(案)について  
事務局から資料6に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

(7) 伊賀市地域公共交通活性化再生協議会書面審議添付資料の一部訂正について

三重交通株式会社伊賀営業所・川端所長から追加資料に基づき説明。

【質疑応答】なし

【承認】

### 3. 報告事項

(1) (仮称)第2期伊賀市地域公共交通網形成計画の策定について  
事務局から資料7に基づき説明。

【質疑応答】

事務局	法改正が予定されていると聞いていますので情報をいただきながら、策定に向けて国土交通省と協議していきたいと考えています。
委員 (中部 運輸局)	今話がありましたように、この網形成計画の根拠となる地域公共交通活性化再生法が、来年5月の国会審議を目指して、国の審議会の地域公共交通部会で改正案を検討中だ。改正法は11月施行予定で、5月から改正内容を踏まえて検討してもらうことになる。 現在の情報では目標値が厳しくなり、健康、福祉、まちづくりの観点を持ち、クロスセクターで効果をあげることが求められると聞いている。例えば、バス運行により医療費がいくら下がったとか、観光にどれだけ寄与したか、こういった目標が求められる。 また、路線毎に利用状況の分析をきちりとしてくださいということになるとも聞いている。
会長	この協議会のメンバーに、市の観光や福祉担当も参加すべきかと思う。

(2) 前回協議会以降に進めている施策について  
事務局から資料8に基づき説明。

【質疑応答】

<p>委員 (伊賀 鉄道)</p>	<p>取り組みを紹介させていただきたい。ネーミングライツの事業として、茅町駅に副駅名を付けることで現在、沿線企業様とお話をしていきます。それから、増収対策としてハイキングを行っているが、例年3月に開催しているのを1回増やして、島ヶ原でも実施した。また、これまでの花火鑑賞列車等に加えて、コンサート列車や利き酒列車、市の福祉の取り組みとしてにじいろ列車といった、行政やまちの方と連携した取り組みを進めています。</p> <p>12月21日にクリスマスコンサートを、22日に200系10周年記念のイベントを予定しています。グッズ販売等で少しでも赤字解消をと思っていますので、皆様方のご理解ご協力よろしくをお願いします。</p>
<p>委員 (三重県 交通政策 課)</p>	<p>10月開催のみえの鉄道展には1,000人の方にお越しいただき、ありがとうございました。</p> <p>また、今日の新聞に出っていますが、県では「みんなでつくろう予算」として、県民の方が「こういう事業をすればいいのでは」と知事やマスコミの前でプレゼンし、県民投票により実施を決定するという事業を行っている。</p> <p>四日市の方が、アクティブシニア向けモビリティマネジメントを提案されており、県のホームページで見ることができます。</p>
<p>委員</p>	<p>庁舎1階にオレンジヴォイスの展示がされていたが、どこの施設が参加しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>詳細はわかりませんが、障がい福祉課と連携した事業になっています。</p>
<p>委員 (JR 西日本)</p>	<p>伊賀上野駅のみどりの窓口の営業時間が11月18日から変更になり、5:30~22:00だったのが、6:00~20:00になっています。</p> <p>また、駅構内の放送を改良し、「隣の駅を〇〇分遅れで出ています」といった内容を流しています。</p> <p>新堂駅については、12月中に信号機器を覆う工事を行い、来年3月までに駅舎を撤去します。</p> <p>柘植駅の駐車場が新しくなり、今年中に使用できるようになります。</p>
<p>事務局</p>	<p>2月に開業130周年を記念して、柘植地区で催しがあるとも</p>

	聞いています。
委員 (三重 交通㈱ 伊賀 営業所)	<p>桑名、四日市、津に続き、来年4月までに伊賀営業所管内で、バスロケーションシステムを導入します。</p> <p>また、安全性向上のためEDSS（ドライバー異常時対応システム）を装備した車両を路線バス1台、名古屋高速バス1台導入しています。これは、運転士の調子が悪くなったときに、乗客がボタンを押して車両を停めるものです。工事後付けができず、新車両導入時に整備していきます。</p>
委員 (伊賀 警察署)	免許返納後に利用する公共交通機関が気になる場所とされている。こういう席で一緒に考えていって、進めていきたい。
委員 (いが 移動送迎 連絡会)	有償運送は補助をいただいても運営が厳しい状況。運転士の高齢化もあり、確保が難しい。年2回運転講習を開催しているが、この秋は9名しか希望者がおらず減ってきている。

#### 4. その他

発言なし

(終了)